

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：総務管理費 目：会計管理費

事業名 総合財務会計システム機器及び運用業務更新事業費（任意）

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

出納事務局 出納管理課 総合財務係 電話番号：058-272-8725

E-mail： c11113@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 87,825 千円（前年度予算額：0 千円）

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	87,825	0	0	0	0	0	0	0	87,825
決定額									

2 要求内容

（1）要求の趣旨（現状と課題）

- ・総合財務会計システムは「岐阜県情報関連業務戦略的アウトソーシング事業」にて再開発し、H19年3月から稼働を開始しているシステムであり、第4期運用（H28年10月～R03年9月）では運用期間を1年延長してR04年9月まで使用する予定である。
- ・機器保守がR04年9月に終了することから、機器老朽化やソフトウェアサポート終了等に対応するため、機器を調達してシステムを移行することで、システムの安定稼働を継続する必要がある。

（2）事業内容

- ・総合財務会計システムのサーバ機器等更新及びシステムの運用保守業務について、複数年契約（R04.10～R10.9）による調達を行う。
- ・サーバ機器等更新においては、大規模災害等発生時においても会計事務の業務継続を実現するために、外部データセンターのクラウドサービスを利用する。

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・県 10/10 (県が管理するシステムの運用費用であるため)

(4) 類似事業の有無

無

- ・本県の総合財務会計システムは県が独自に開発したシステムである。

3 事業費の積算内訳

【整備事業費】(単位：千円)

総合財務会計システムのインストール、機器設置、データ移行、PDF 帳票移行、クラウド利用準備に伴う初期整備費用

年度	R03	R04	計
整備費	87,825	115,731	203,556

【運用事業費】(単位：千円)

総合財務会計システムの運用、プリンタやソフトウェアの賃貸借及び保守、クラウドサービスに伴う運用費用

年度	R03	R04	R05-R09 (各年度)	R10	計
運用業務	0	92,429	184,857	92,429	1,109,143
維持管理	0	9,618	19,236	9,618	115,416
クラウドサービス	0	17,583	35,165	17,583	210,991
機器等賃貸借	0	5,263	10,525	5,263	63,151
合計	0	124,893	249,783	124,893	1,498,701

【整備事業費・運用事業費】(単位：千円)

R03.10(予定)～R10.09、債務負担限度額 1,615,000 千円 (R04～R10)

年度	R03	R04	R05-R09 (各年度)	R10	計
整備事業費	87,825	115,731	0	0	203,556
運用事業費	0	124,893	249,783	124,893	1,498,701
合計	87,825	240,624	249,783	124,893	1,702,257

決定額の考え方

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業
 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 R04年10月以降も継続して総合財務会計システムが使用できるように、機器調達及びシステム移行を行う、また、システムの安定稼働に向けた運用維持管理を行う。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業 開始前	指標の推移		現在値	目 標	達成率
				(前々年度末時点)		
サービスレベル実績 (可用性)	設定なし (H18)	99.98% (H29)	99.9998% (H30)	100% (H31)	100% (R04)	100%
サービスレベル実績 (障害復旧時間非遵守件数)	設定なし (H18)	0件 (H29)	0件 (H30)	0件 (H31)	0件 (R04)	100%
サービスレベル実績 (バッチ処理スケジュール遵守率)	設定なし (H18)	99.99% (H29)	100% (H30)	99.99% (H31)	100% (R04)	99.99%

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
 (1) 利用状況（H31：年間総数）
 利用者数 797,534人、ログイン回数 2,376,911回
 (2) サービスレベル遵守状況
 システム稼働率、障害対応、システム一括処理にかかる時間、いずれも違反なし

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
 H31年度末時点で、運用保守業務に関するサービスレベルに違反項目はなく、安定稼働している。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	県の会計事務、予算執行等を円滑かつ確実にを行うため総合財務会計システムの安定稼働が必要。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	会計事務に多大な影響を及ぼす障害は発生しておらず、安定稼働できている。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) ○	H28年度から、別契約であった関連業務（障害監視、財務プリンタの賃貸借保守業務）もあわせて一括調達を行っており、次期契約においても一括調達を行う予定。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 <p>総合財務会計システムの開発当初から年数を経ており、ソフトウェアのサポート終了等による技術的な問題が散見されることから、次々期更改では再開発を検討する必要がある。</p>

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか <p>システム更改に向けた調達手続きを適正に行うとともに、事務事業見直し等による総合財務会計システムの利用者等の要望を踏まえた上で改修等行うとともに、維持管理業務を円滑に遂行することでシステムの安定稼働を確保する。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	